



名古屋民主市議団ニュース

**2019年10月より、
3歳から5歳までの幼児教育・保育が無償化されます。**
名古屋民主市議団が掲げる「チルドレンファースト」政策が前進します。
「幼児教育・保育の無償化」について解説します。

幼稚園、保育所、認定こども園、障がい児通園施設

※地域型保育も対象。
また企業主導型保育事業(標準的な利用料)も対象。

無償

幼稚園の預かり保育

幼稚園保育料の無償化

月1.13万円(月3.7万円との差額)
まで無償

認可外保育施設、ベビーシッターなど

(一般的にいう認可外保育施設、自治体の認証保育施設など)

月3.7万円まで無償

幼稚園、保育所、
認定こども園

+

障がい児通園施設

ともに無償

※住民税非課税世帯については、0歳児～2歳児についても上記同様の考え方で無償化の対象となる。(月4.2万円まで)

※私立幼稚園(私学助成園)については月2.57万円が上限

<p>Q 対象者は?</p>	<p>A 3歳児～5歳児の全てです。 ※住民税非課税世帯については、0歳児～2歳児についても対象となります。</p>
<p>Q 具体的には何が無償化されるの?</p>	<p>A 幼稚園、保育所、認定こども園、障がい児通園施設などの利用料が無償化されます。 ※実費としてかかる費用(通園送迎費、食材料費、行事費など)は対象外 認可外保育施設やベビーシッター、病児保育やファミリー・サポート・センターの利用料も無償化されます。(月3.7万円まで)</p>

これまで私たちは一貫して、「**バランスの良い子育て支援**」の実現のため、さまざまな制度を提案してきました。保育園や幼稚園の整備に加えて「**子育て支援金**」や「**子育て支援サービス利用券**」など、市民に選択肢を増やす取り組みです。名古屋民主市議団は、これからも生活者の立場で、利用者目線で議論を重ね、子育て世代に選ばれるまちづくりを推進していきます。

市政のテーマは多岐にわたり、つながっています。
詳細はぜひ、名古屋民主市会議員団のホームページをご覧ください。

<http://nagoyacity.net>